

野沢小学校だより

やさしく かしく たくましく

佐久市立野沢小学校 No.4

平成26年7月23日

学校長 高柳 元茂

TEL 62-0109

☆地域と共にある学校～学習支援ボランティアの活躍～

阿部長野県知事は、平成29年には県下の小中学校総てに「信州型コミュニティースクール」を導入すると表明しました。地域の人々の意向が学校づくりに反映されていく機会が今以上に増えると思われます。本校にはその素地は十分にあると思ひます。

本校は、地域のみなさんが持っている様々な力を提供していただひています。地域と共に子どもたちを育てている学校です。地域の皆さんが、学習環境をつくって下さっているお陰で子どもたちは、安心して楽しく学習に取り組むことができひています。感謝です。

さて、本校には、「野沢小応援団」があります。

①見守り隊に登録されている方は、29人です。通常は、腕章を付けて自宅付近の通学路に出て下校を見守ってくださひています。そのことにより子どもたちは安全に下校できます。

その他に②読み聞かせボランティア③託児ボランティア④学習支援ボランティアのみなさんが、子どもたちのため、野沢小のために積極的に活動されています。

昨年度より取り組みが始まった学習支援ボランティアの方々の活躍のようすを紹介します。メンバーには保護者もいますし、そうでない人もいます。ボランティアの方と学校側が活動内容や日程等の調整を行い、都合のつく日時に来ていただひています。ボランティアの方の生活や仕事が優先されるのは言うまでもありません。

たとえば、次のような活動をされています。

①家庭科の授業

グループでミシンを使う場面で、教科担任が一人で指導するより、効率的に支援が行われ、操作方法を速やかに身に付けることができました。

②算数の授業

2年生では、九九を習ひます。学級担任の横にボランティアが座り、2人で九九が言えるかどうか、確認をしています。

③総合的な学習の時間

学級で借りている畑に出かけるときに付き添ひ、行き帰りの安全、作業中の安全に注意を払ってくださひています。

④ その他

椅子にじっと座っていることができない児童に、声をかけてくれます。いつもより長く、椅子に座って学習に取り組むことができます。



学習支援ボランティアと共に～5年算数～



蓼科山登山 山頂で～5年生～

ある学校の保護者で学習支援ボランティアをやっているAさんの話です。Aさんは、娘のいるクラスでボランティアをしています。

Aさんは、参観日の時、いつも我が子の活躍を期待し、みていました。いわばお客様でした。「先生は、落ち着きのないA君やB君にもっと厳しく指導すればいいのに。もっと、楽しい学級をつくれぬものか。A君、B君の親は何を考へているのか。懇談会にも出てこない。担任の先生はもっと働きかけるべきだ」と担任の先生の指導や学級づくりを批判的にみていました。

ところが、ボランティア募集の呼びかけに応じて、担任の先生の指導や学級づくりを批判的にみていました。ところが、ボランティア募集の呼びかけに応じて、担任の先生の指導や学級づくりを批判的にみていました。

我が子のクラスの支援に入ると、先生が保護者との連携や子どもたちとの関係づくりに大変努力しているが、その苦勞がなかなか報われぬ様子がみえてきて、一人の力は弱

いかかもしれないが、協力したいと思いました。それから他の保護者にも呼びかけ、仲間を増やしました。学校に顔を出すうちに先生と一緒にクラスの子どもたちを育てるんだという当事者意識がだんだん強くなっていきました。

ある本には、3回ボランティアをやれば、教室にいる自分の子どもから目が離れ、クラスのため、学校のために協力できるようになる、とありました。

保護者の方が、ボランティアとして学級に入ると、教師の目の届かないところに、支援がゆき、学習への取り組みもより前向きになり、クラスの友人関係もよくなり、だれもが安心して学べる環境になっていくそうです。このような環境でこそ、学力は伸びていくのだと思います。

教職の免許のあるなしは問いません。少しでもよいのでみなさんの持っている力を野沢小学校の子どもたちのために貸していただけませんか。地域と共に子どもを育てる学校づくりをこれからも推進してまいります。

学習支援ボランティアを募集しています。

☆教頭の日から…

☆「励まし合う ～登山・宿泊訓練から～」
「先生、まだあ？」「あと、何分？」登山をしていて、こんな声を一度も聞くことがなかった。そんな約束になっていたのだと思うが、見事だった。
遅れ始める子がいると、「〇〇くん、大丈夫？」「◇◇さん、がんばれ！」という声が飛び交った。中には、友だちのリュックを持ってくれる子もいた。
子どもたち同士のつながり、学級・学年の絆は見事に強くなったと感じた。

☆「指示はどう出す 子どもたちに荒れが始めるきっかけ」
指示は、「一時に一事」が鉄則。
「それでは、はじめに〇〇をして、次に◇◇をしたら、その次に▲▲をして、あっ、そうそう、その時、△△は教室の隣の教材室から持ってきてね。えっと、先生、どこまで言ったっけ？」なんてよくありそうですよね。
一時に三事言わなければならないときもあります。どうしたらいいか。「黒板に手順を板書する」これで済みます。この一手間を大事にする。
「なんで聞いてなかったの？いつもそんなんだから、まったくもう。(プンプン)」こんなことを繰り返していると、子どもたちは意地悪く、人を信じなくなっていくかもしれません。

☆8月の予定

19日(火)	夏休み最終日 学校保健委員会(15:30～)
20日(水)	2学期始業式 ※全員が健康で始業式を迎えられますように。 15:20下校
21日(木)	発育測定(5年)
22日(金)	発育測定(6年) 4-3ブラッシング指導
24日(日)	大沢みどりの少年団体験教室
25日(月)	サイトウキネフェスティバル(6年) 発育測定(4年)
26日(火)	児童会
27日(水)	佐久音楽鑑賞教室
28日(木)	集金日 発育測定(2年)
29日(金)	発育測定(1年) 4-4ブラッシング指導

※水泳学習の参観については、各学年だよりでご確認ください。

子どもたちが楽しみにしている夏休みが間近となりました。「普段できない体験をする」ことは何も旅行に行くことだけではありません。毎日、玄関の掃除を続ける、食器を洗うなどのお手伝いもその一つです。適度の勤労は、家族としての所属意識を育てるのに有効であることは言うまでもありません。我が家の勤労体験を見直す良い時期でもあります。一考いただければ幸いです。

☆託児ボランティア利用時のお願い

○水筒を持たせていただくようお願いします。

→紙パックのお茶やジュースですと、飲み切れないと、持ち帰りに困ります。

○私物には、必ず記名をお願いします。

○汚れてもよい服装をお願いします。

→洋服の前後に名前をガムテープで貼り付けます。

☆安全で楽しいお休みに

本県の小学生が他県の海で溺れ、命を落とす悲しいことがありました。ご両親の想いを察するといたたまれない気持ちになります。行楽地はどこも賑わっていることと思います。お子様から目を離さず、安全で楽しいひとときをお過ごしください。



姉妹学級交流～1, 6年絵本の読み聞かせ～